

市長（山田憲昭君）

市内における各種文化施設を一元的に管理運営する文化振興財団を設立としてはどうかとの御質問にお答えをいたします。

市内には、博物館、美術館、俳句館、ふるさと館、一向一揆歴史館、ルーツ交流館、市民工房うるわし、安楽庵等、10の文化施設があります。現在、白山市文化協会は、市民工房うるわしと安楽庵の文化施設のほか、松任文化会館、クレインなどの指定管理者となって活動いたしており、特に市民工房うるわしは、市内外から年間14万人の利用があり、駅前のにぎわいにもつながっているところであります。

御提案の文化振興財団につきましては、今ほど申し上げましたように、白山市文化協会自体は、指定管理者になるなど通常業務にあわせて市の文化振興に大きな役割を果たしており、今の段階では財団に移行ということは聞いてはおりません。

ただし、白山市文化協会が将来的に財団に移行するというような機運が高まったときには、市としても協力してまいりたいというふうに考えております。

以上であります。